

水・大気環境局 大気生活環境室
 水環境課
 地下水・地盤環境室

1. 事業の概要

(1) ヒートアイランド現象に関する調査及び観測

都市におけるヒートアイランド現象は、未だその発生メカニズムや環境影響等に未解明な部分が多く、ヒートアイランド対策推進の妨げとなっているため、メカニズム、環境影響及び対策効果の定量的評価等の調査・検討を進める。また、ヒートアイランド対策の知見を広く普及し、ヒートアイランド対策の推進を図る。

- ・ 環境影響の調査、気温等の広域測定、現象に関する適応策検討調査
- ・ ヒートアイランド対策に関する普及啓発

(2) 環境技術を活用したヒートアイランド対策の検証

ヒートアイランド現象が顕著な都市部において、水や緑を活用したヒートアイランド対策の効果や環境影響の検証を行う。

(3) 熱中症予防情報の提供及びモニタリング

ホームページにより熱中症に関する予防情報の提供を行う。また熱中症と暑熱環境の指標であるWBGT（湿球黒球温度）速報値の提供の充実を図る。

(4) モデル地域における未利用水・未利用エネルギーの有効活用検証

モデル地域において未利用水・未利用エネルギーの有効利用手法の検証を行い、クールシティの実現及びCO2の排出抑制による地球温暖化防止に役立てる。

2. 事業計画

	H19	H20	H21	H22	H23
環境影響の調査、気温等の広域想定、適応策検討調査					
ヒートアイランド対策に関する普及啓発					
環境技術を活用したヒートアイランド対策の検証					
熱中症予防情報の提供及びモニタリング					
モデル地域における未利用水・未利用エネルギーの有効活用検討					

3. 施策の効果

ヒートアイランド現象、及びその影響、対策効果等は現段階では定量的な評価が困難である。本事業によって、定量的な施策目標を作成・実行するための影響指標や評価手法を検討し、ヒートアイランド対策の推進を図る。

4. 備考

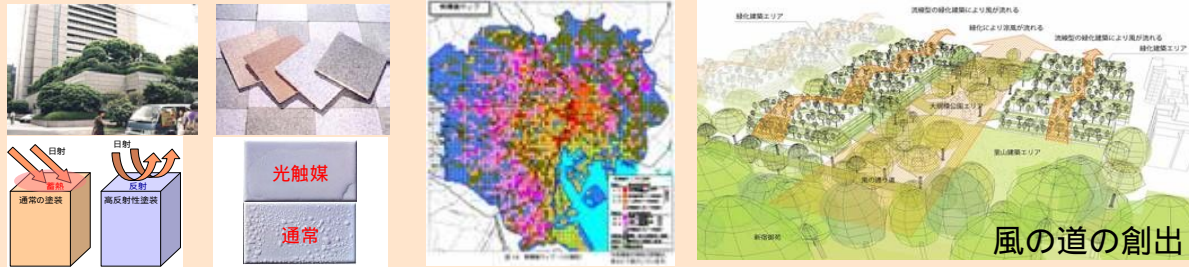
(内訳)

ヒートアイランド現象に関する調査及び観測	50百万円
環境技術を活用したヒートアイランド対策の検証	92百万円
熱中症予防情報の提供とモニタリング	29百万円
モデル地域における未利用水・未利用エネルギーの有効活用検証	81百万円

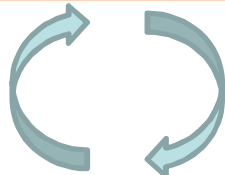
ヒートアイランド対策

対策計画策定ガイドライン（平成20年度作成）

→自治体等における対策計画の策定手法を提案、長期的・計画的実施の指針を提示

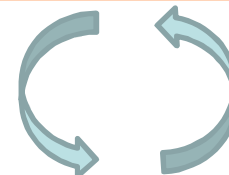


自治体の対策等から
得られた知見の
更なる蓄積



・自治体への対策推進
・対策効果の定量化

民間企業への
対策推進



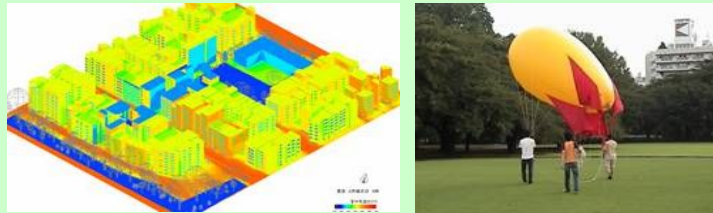
民間企業の対策から
得られた知見の
更なる蓄積

クールシティ推進事業

対策評価手法の確立

→都市熱環境のモニタリング

→シミュレーションによるメカニズム解析

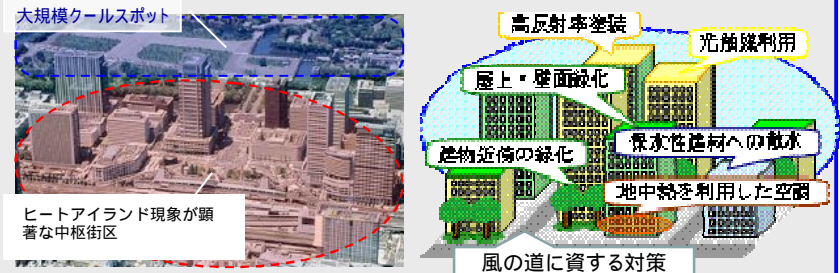


熱環境改善効果の指標化・定量化
現状把握手法・評価手法の確立
熱中症予防情報の充実

クールシティ中枢街区パイロット事業

集中的・一体的な対策事業の実施

→民間によるモデル街区での集中的な事業



建築物の省CO2化
他の事業者への実用性・有効性 P R

世界に誇るクールシティの創出